

事務事業の概要								
1	事務事業名	管理計画業務						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	設計積算システム（アクアΣ）及び管路管理システム（Waters）						
9	事業の目的	上水道施設の管理・計画・審査を適切に行う事により、円滑な事業の進捗を図り工事成果を上げる。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		管路管理システムについて、施設の新設及び改廃に合わせてデータ入力し管理するために、継続して実施する。						
11	事業の内容(手法)	上水道施設の管理・計画・審査を適切に行う事により、円滑な事業の進捗を図り工事成果を上げる。						
		平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする ものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標							
	活動指標	① GIS入力(工事)件数(率)	100	100	100	100		
		② GIS入力(給水)件数(率)	100	100	100	100		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		7,199	5,622	5,674	5,726		
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他						
	(a) - (b) = 一般財源		7,199	5,622	5,674	5,726		
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要								
1	事務事業名	管路維持管理事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	上水道管路及び施設						
9	事業の目的	上水道の安定供給のため、管路及び施設の維持管理を行うことにより、有収率の向上、漏水による二次災害の予防及び住民サービスの向上を図る。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		上水道事業においては、管路・施設の維持管理は必要不可欠であり大きな変更は難しいが、更なる効率化を目指していく。						
11	事業の内容(手法)	上水道の安定供給のため、管路及び施設の維持管理を行うことにより、有収率の向上、漏水による二次災害の予防及び住民サービスの向上を図る。						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標							
	活動指標	① 修理件数(件)	500	500	500	500		
		② 給水戸数(戸)	48000	48300	48600	48900		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		41,134	36,137	36,472	36,806		
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他						
(a) - (b) = 一般財源		41,134	36,137	36,472	36,806			
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要								
1	事務事業名	各種調査業務						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	上水道施設						
9	事業の目的	市内の上水道施設の現状を把握し、安定供給に向けた各種調査を実施し、配水計画に反映する。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		各種調査は必要不可欠であるので、今後、より効率的で効果的な調査方法について検討していく。						
11	事業の内容(手法)	市内の上水道施設の現状を把握し、安定供給に向けた各種調査を実施し、配水計画に反映する。						
		平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする ものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標							
	活動指標	① 配水管延長(km)	600	604	606	608		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳入(b)	歳出(直接事業費)(a)						
		受益者負担額						
		国県補助金等その他						
	(a) - (b) = 一般財源		0	0	0	0		
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要								
1	事務事業名	更新・耐震化事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象							
9	事業の目的	老朽化した上水道管を管路更新・耐震化することにより、給水の安定供給を図る。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		老朽管の更新事業は、平成26年度より事業名を更新・耐震化事業に変更し、引き続き管路更新計画に基づき経年劣化した管路を順次布設替えし、併せて耐震化も図っていく。						
11	事業の内容(手法)	老朽化した上水道管を管路更新・耐震化することにより、給水の安定供給を図る。						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標							
	活動指標	① 工事件数	4	5	5	5		
		② 施行延長	412	900	900	900		
	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
13	歳出(直接事業費)(a)		29,844	65,000	65,000	65,000		
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他	1,501					
	(a) - (b) = 一般財源		28,343	65,000	65,000	65,000		
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要							
1	事務事業名	給水装置設置事業					
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本 経二郎	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	4	上下水道の整備			
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名						
7	事業開始年度	昭和 32 年度	事業終了年度	平成 一 年度			
事務事業の実施							
8	対象	給水装置工事を設置する申請者					
9	事業の目的	安定供給を確保するため、給水装置を適正に設置する。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		定期的に指定給水装置工事事業者への指導等の徹底、委託業務(受付)の改善、時代のニーズに応じた関係要綱の改正を図る。					
11	事業の内容(手法)	安定供給を確保するため、給水装置を適正に設置する。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標	給水申請受付件数	900	900	900	900	
	活動指標	①					
		②					
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)						
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他					
	(a) - (b) = 一般財源		0	0	0	0	
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要

1	事務事業名	配水場運転維持管理事業				
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本 経二郎
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち		
		施策	4	上下水道の整備		
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営		
4	総合戦略の位置づけ	基本目標				
		基本的方向				
5	行革大綱の位置づけ	重点項目				
		項目				
		改革名				
6	予算事業名					
7	事業開始年度	昭和 45 年度	事業終了年度	平成 一 年度		

事務事業の実施

8	対象	配水場施設等					
9	事業の目的	水道水を安定供給すること。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	1	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		水道水の供給のため、この事業は不可欠である。配水施設新設のため事業は拡大する。供給コストを考慮し、設備・機器の更新を適切に行いながら施設の安全性を維持する。					
11	事業の内容(手法)	年間の送水計画を策定し、県水道局と受水調整を図りつつ、中央管理棟から各施設への遠隔操作により均等受水に努め、安定的に配水する。配水施設の増設及び再編による集約化を行い、更新コスト削減を図る。またポンプ設備や電気計装設備等の定期的なメンテナンスを実施することにより、配水施設の良い維持管理を図る。					
		平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする ものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標	県水総受水量 ①+② (千m3)	13404	13067	12921	12775	
	活動指標	① 白檀配水場受水量 (千m3)	6504	5932	5866	5800	
		② 一町配水場受水量 (千m3)	6900	7135	7055	6975	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		2,225,959	1,732,375	1,628,941	1,694,176	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	243,317	0	0	0	
(a) - (b) = 一般財源		1,982,642	1,732,375	1,628,941	1,694,176		
14	増額理由	継続事業					

備 考

事務事業の概要								
1	事務事業名	ポンプ場維持管理事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本 経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	ポンプ場施設						
9	事業の目的	上下水道部が設置している市内6箇所の加圧ポンプ場のポンプ及び制御盤等の機器の定期的な点検とポンプ槽の設置されている1箇所については清掃を実施し、水道水の安定供給並びに水質の保全を図る。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		各ポンプ場施設は、定期的な保守点検やポンプ槽清掃を適切に実施することにより、機器等の状況を的確に把握し、効率的な運用を行っている。水道水の安定供給にとって重要な施設であり、今後も設備更新を適宜実施しながら事業を継続していくが、設備の統合や省エネルギー化を検討し、運用コストの低減を目指す。						
11	事業の内容(手法)	ポンプ場施設は、仕様書に基づいた保守点検業務を年4回、ポンプ槽を設置している1箇所の施設については、保守点検に加え、ポンプ槽清掃とそれに合わせた総合点検を年1回実施している。これにより、予防的な保守や修繕を効率的に実施し、突発的な故障等を未然に防止し、安定的にポンプ場施設を運用している。						
		平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする ものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標							
	活動指標	① 保守点検箇所数	6	6	6	6		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		6,295	6,295	6,353	6,412		
	歳入(b)	受益者負担額	0	0	0	0		
		国県補助金等その他	0	0	0	0		
	(a) - (b) = 一般財源		6,295	6,295	6,353	6,412		
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要								
1	事務事業名	水道メ-タ-取替及び維持管理事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本 経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施 策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項 目						
		改 革 名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	水道メ-タ-検定満了に伴い取替、取外しを行うもの。						
9	事業の目的	安定供給を確保する為、給水装置を適正に設置する。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		取替困難箇所の解消を図るため、継続して改善を進めて行く。						
11	事業の内容(手法)	安定供給を確保する為、給水装置を適正に設置する。						
		平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする ものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標							
	活動指標	① 検定満了に伴う取替メ-ター数	6484	6900	6900	6900		
		② 検定満了に伴う取外メ-ター数	298	300	300	300		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		12,522	13,306	13,429	13,553		
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他						
(a) - (b) = 一般財源		12,522	13,306	13,429	13,553			
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要								
1	事務事業名	開発協議事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	開発事業者						
9	事業の目的	安定供給を確保するため、開発事業者に開発工事の協議・指導をすることにより、檀原市仕様に適合した上水道施設を設置する。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		開発事業事前協議会において、説明内容を見直しながら、開発事業者への条例、規程、要綱の周知徹底により事務の効率化を図る。						
11	事業の内容(手法)	安定供給を確保するため、開発事業者に開発工事の協議・指導をすることにより、檀原市仕様に適合した上水道施設を設置する。						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標							
	活動指標	① 開発協議件数	40	40	40	40		
		② 負担金工事件数	0	0	0	0		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)							
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他						
	(a) - (b) = 一般財源		0	0	0	0		
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要							
1	事務事業名	専用水道管理事業					
2	担当部名	環境づくり部	担当課名	環境衛生課	課長名	井上 吉成	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	4	上下水道の整備			
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	環境衛生推進費					
7	事業開始年度	平成 25 年度	事業終了年度	平成	年度		
事務事業の実施							
8	対象	専用水道設置者					
9	事業の目的	「水道法」に基づき専用水道と認められる施設を設置する設置者が適正な管理運営を図ることを目的とする。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		平成25年度に奈良県より事業移譲を受ける。水道の事業であるので、水道局と協力しながら専用水道設置者への管理指導を行う。					
11	事業の内容 (手法)	専用水道設置者より設置・変更等の申請を受け、確認・精査し許可を行う。工事完了後は、設備・水質などの立ち入り確認を行う。また、水質検査結果を含む各種報告書の提出及び定期立ち入り検査により法定義務事項が守られているか確認する。場合により改善などの指導を行う。					
		平成30年度からの拡充・変更内容 (予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称 (単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 施設件数 (件)	12	12	12	12	
13	コストの推移 (単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出 (直接事業費) (a)		3	3	3	3	
	歳入 (b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他					
	(a) - (b) = 一般財源		3	3	3	3	
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要																																																																
1	事務事業名	お客さまセンター委託業務																																																														
2	担当部名	上下水道部	担当課名	経営総務課	課長名	林野 雅仁																																																										
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち																																																												
		施策	4	上下水道の整備																																																												
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営																																																												
4	総合戦略の位置づけ	基本目標																																																														
		基本的方向																																																														
5	行革大綱の位置づけ	重点項目																																																														
		項目																																																														
		改革名																																																														
6	予算事業名																																																															
7	事業開始年度	平成 19 年度		事業終了年度	平成 - 年度																																																											
事務事業の実施																																																																
8	対象	給水世帯																																																														
9	事業の目的	適正な料金請求と収納 滞納料金の減少																																																														
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する																																																									
		受託業者との連絡調整を密に行い、安定した業務遂行を継続させる。																																																														
11	事業の内容(手法)	①水道メーター検針及び点検業務 ②開閉栓受付及び局電話受付(交換)業務 ③開閉栓業務(一部現地精算含む) ④水道料金及び下水道使用料調定業務 ⑤水道料金等収納及び滞納整理業務(給水停止を含む)																																																														
		⑥水道メーター取替及び維持管理業務 ⑦給水装置工事及び指定工事業者新規受付業務 ⑧排水設備工事、指定工事店及び責任技術者受付業務 ⑨その他付帯業務 以上の業務を民間業者に委託																																																														
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)																																																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の推移</th> <th rowspan="2">名称(単位)</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> </tr> <tr> <th>(総計目標値)</th> <th>(見込み)</th> <th>(見込み)</th> <th>(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">12</td> <td>成果指標</td> <td>収納率(収納額/調定額)</td> <td>0.98</td> <td>0.98</td> <td>0.98</td> <td>0.98</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">コストの推移(単位:千円)</td> <td>(当初予算)</td> <td>(予算要求)</td> <td>(見込み)</td> <td>(見込み)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">13</td> <td colspan="2">歳出(直接事業費)(a)</td> <td>104,781</td> <td>108,841</td> <td>109,849</td> <td>110,857</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歳入(b)</td> <td>受益者負担額</td> <td>104,781</td> <td>108,841</td> <td>109,849</td> <td>110,857</td> </tr> <tr> <td>国県補助金等その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(a) - (b) = 一般財源</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							指標の推移	名称(単位)	29年度	30年度	31年度	32年度	(総計目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	12	成果指標	収納率(収納額/調定額)	0.98	0.98	0.98	0.98	活動指標	①					②					コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	13	歳出(直接事業費)(a)		104,781	108,841	109,849	110,857	歳入(b)	受益者負担額	104,781	108,841	109,849	110,857	国県補助金等その他					(a) - (b) = 一般財源		0	0	0	0
指標の推移	名称(単位)	29年度	30年度	31年度	32年度																																																											
		(総計目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)																																																											
12	成果指標	収納率(収納額/調定額)	0.98	0.98	0.98	0.98																																																										
	活動指標	①																																																														
		②																																																														
コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)																																																											
13	歳出(直接事業費)(a)		104,781	108,841	109,849	110,857																																																										
	歳入(b)	受益者負担額	104,781	108,841	109,849	110,857																																																										
		国県補助金等その他																																																														
	(a) - (b) = 一般財源		0	0	0	0																																																										
14	増額理由	継続事業																																																														
備 考																																																																

事務事業の概要

1	事務事業名	上下水道部非常時対策事業				
2	担当部名	上下水道部	担当課名	経営総務課	課長名	林野 雅仁
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち		
		施策	4	上下水道の整備		
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営		
4	総合戦略の位置づけ	基本目標				
		基本的方向				
5	行革大綱の位置づけ	重点項目				
		項目				
		改革名				
6	予算事業名					
7	事業開始年度	平成	-	年度	事業終了年度	平成 - 年度

事務事業の実施

8	対象	市民					
9	事業の目的	濁水、事故、災害等の不測の事態に際し、的確な初動活動ができる体制を確立し、安全な水道供給により市民生活を守る。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		非常時の市民生活を守るため、継続して実施していく。					
11	事業の内容(手法)	濁水、事故、災害等を想定した各種訓練の実施及び災害用物資の購入					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 訓練実施回数(年間)	4	4	4	4	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		1,241	1,241	1,241	1,264	
	歳入(b)	受益者負担額	1,241	1,241	1,241	1,264	
		国県補助金等その他					
	(a) - (b) = 一般財源		0	0	0	0	
14	増額理由	継続事業					

備 考

事務事業の概要							
1	事務事業名	上下水道部総務事業					
2	担当部名	上下水道部	担当課名	経営総務課	課長名	林野 雅仁	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	4	上下水道の整備			
		今後の取組	1	安定供給の確保と健全な経営			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名						
7	事業開始年度	昭和 45 年度	事業終了年度	平成 - 年度			
事務事業の実施							
8	対象	給水世帯					
9	事業の目的	水道事業の健全経営					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		水道事業の健全経営を維持し、安全で安心できる安定した水道水を供給する。					
11	事業の内容(手法)	①公営企業会計業務…予算決算の編成、資金管理運営 ②総務一般業務…事業基本計画、契約事務、文書管理、公用車管理、業務用無線管理 ③人事業務…職員研修、健康診断、訓練 ④水道営業業務…水道料金に関する業務					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標 ①						
	活動指標 ②						
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		48,302	46,236	46,572	46,879	
	歳入(b)	受益者負担額	48,302	46,236	46,572	46,879	
		国県補助金等その他					
(a) - (b) = 一般財源		0	0	0	0		
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要								
1	事務事業名	配水管理設事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	2	災害に強い上水道の確立				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象							
9	事業の目的	上水道管を拡張するための布設及びそれに伴う設計・施工管理・検査事業						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		今後も新設道路等、他事業の予定・進捗に併せて継続して事業を進めていく。						
11	事業の内容(手法)	上水道管を拡張するための布設及びそれに伴う設計・施工管理・検査事業						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標							
	活動指標	① 工事件数	3	3	3	3		
		② 施行延長	53	120	120	120		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		161,640	33,000	33,000	33,000		
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他	1,800					
	(a) - (b) = 一般財源		159,840	33,000	33,000	33,000		
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要

1	事務事業名	配水管移設事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	2	災害に強い上水道の確立				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度

事務事業の実施

8	対象						
9	事業の目的	他事業で支障になる上水道施設の移設・復旧及びそれに伴う設計・施工管理・検査事業					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		今後についても、他事業に併せて移設事業を行う。					
11	事業の内容(手法)	他事業で支障になる上水道施設の移設・復旧及びそれに伴う設計・施工管理・検査事業。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 移設件数	17	16	16	16	
		② 施行延長	1720	1350	1350	1350	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		105,374	91,000	91,000	91,000	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	36,500	24,000	24,000	24,000	
(a) - (b) = 一般財源		68,874	67,000	67,000	67,000		
14	増額理由	継続事業					

備 考

事務事業の概要								
1	事務事業名	水質検査事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本 経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	3	水質保全の啓発				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	上下水道部が供給している水道水						
9	事業の目的	上下水道部が供給している水道水の水質検査を実施し水道水の品質を保証することを目的とする。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		密度の高い水質情報の提供には検体数の維持は必要であり、水質管理の重要・即応性から自己検査体制は必要不可欠であり、現体系で今後も継続する。また、水質についての顧客満足度アップを図っていく。						
11	事業の内容(手法)	毎日8ヶ所で、濁度、色度、残塩の検査を行う。自己水質検査については、月1回2ヶ所の配水場、11ヶ所の自治会地区内の公共施設等の給水栓及びポンプ槽のある加圧ポンプ場1ヶ所より採水し、また年2回緊急貯水槽2ヶ所、年1回小・中学校2ヶ所より採水し実施する。自己検査できない項目については、奈良広域水質検査センター組合に検査を委託する(管末2箇所、年4回)。						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
		成果指標	自己検査検体数 ①+②(件)	3114	3114	3114	3114	
	活動指標	① 毎日検査検体数 (件)	2920	2920	2920	2928		
		② 毎月検査検体数 (件)	194	194	194	194		
	13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
歳出(直接事業費)(a)		2,258	2,258	2,265	2,271			
歳入(b)		受益者負担額	0	0	0	0		
		国県補助金等その他	0	0	0	0		
(a) - (b) = 一般財源		2,258	2,258	2,265	2,271			
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要								
1	事務事業名	広報事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	上水道課	課長名	岡本 経二郎		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	3	水質保全の啓発				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名							
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	水道需要者及び施設見学者						
9	事業の目的	水道事業の情報提供及び啓発活動を行い、水道事業に対する理解を深めてもらうことを目的とする。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		情報提供、啓発活動は水道事業を理解してもらうためには有効な手段であるため、今後は内容の充実や参加者の増加を目指し継続していく。						
11	事業の内容(手法)	ホームページを毎月更新し水質検査結果その他の水道事業に関する情報を広く提供する。また、施設見学、出前講座を実施し、参加者に水道事業に対する理解を深めてもらう。その際、資料を配布し記憶に残りやすいものにする。他には、上下水道部発行の広報誌(年2回)に、関連する業務についての記事を掲載する。						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標	水道パンフレット配布部数 (部)	300	300	300	300		
	活動指標	① HP更新回数 (回)	12	12	12	12		
		② 施設見学、出前講座参加数 (人)	300	300	300	300		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		5	5	327	5		
	歳入(b)	受益者負担額	0	0	0	0		
		国県補助金等その他	0	0	0	0		
	(a) - (b) = 一般財源		5	5	327	5		
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要								
1	事務事業名	水洗化普及促進事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	下水道課	課長名	片木 幹夫		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組	5	水洗化の促進				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名	普及指導費・排水設備費						
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	供用開始区域内の下水道未利用者						
9	事業の目的	より多くの市民に公共下水道を利用してもらうよう、啓発等により接続率の向上に努めることを目的とする。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		下水道への接続率の向上を図るため、現状を把握し分析した上で、これからの啓発活動に活かしていく。						
11	事業の内容(手法)	下水道が供用開始された区域において、下水道への接続を促進するため、普及相談員による情報提供を充実する。また、トイレの水洗化を促進するため、貸付金制度の周知を図る。						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
		成果指標	接続率	88	88	89	89	
	活動指標	①	接続戸数	40500	41000	41500	42000	
		②	普及訪問戸数	1000	1000	1000	1000	
	13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
歳入(b)		歳出(直接事業費)(a)	2,802	2,802	2,802	2,802		
		受益者負担額	300	300	300	300		
		国県補助金等その他	1,030	1,030	1,030	1,030		
(a) - (b) = 一般財源		1,472	1,472	1,472	1,472			
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要							
1	事務事業名	下水道事務管理事業					
2	担当部名	上下水道部	担当課名	経営総務課	課長名	林野 雅仁	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	4	上下水道の整備			
		今後の取組	6	施設等の維持・管理			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目	2	選択と集中による行政経営			
		項目	1	事務事業の見直し			
		改革名	15	公共下水道事業における地方公営企業法の法適化（企業会計制度の導入）			
6	予算事業名						
7	事業開始年度	平成	-	年度	事業終了年度	平成 - 年度	
事務事業の実施							
8	対象	供用開始区域内の公共下水道（污水）使用者					
9	事業の目的	下水道事業の健全経営					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		下水道使用料の収益確保と財政基盤の安定化を図り、経営の健全化に努める。					
11	事業の内容(手法)	<ul style="list-style-type: none"> ・公営企業会計業務・・・予算決算の編成、資金管理運営、資金調達業務 ・総務一般業務・・・契約事務、文書管理 ・人事業務・・・健康診断、訓練 ・下水道営業業務・・・下水道使用料に関する業務 					
		平成30年度からの拡充・変更内容（予算措置を必要とするものに限る）					
12	指標の推移	名称（単位）	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
		成果指標	下水道使用料徴収率	98	98	98	98
	活動指標	①	徴収委託件数	179500	180500	181000	181500
		②					
	コストの推移（単位：千円）		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
13	歳出（直接事業費）(a)		801,203	807,917	821,535	837,286	
	歳入 (b)	受益者負担額	801,203	807,917	821,535	837,286	
		国県補助金等その他					
	(a) - (b) = 一般財源		0	0	0	0	
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要							
1	事務事業名	汚水施設建設事業					
2	担当部名	上下水道部	担当課名	下水道課	課長名	片木 幹夫	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	4	上下水道の整備			
		今後の取組					
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	汚水管路建設費・流域下水道建設負担金					
7	事業開始年度	昭和 42 年度	事業終了年度	平成 47 年度			
事務事業の実施							
8	対象						
9	事業の目的	河川の水質向上や、快適な生活環境を実現するために、汚水管渠の建設を推進します。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		効率的な整備を行うため、人口密集地域を優先的に整備するなど計画的な事業執行に取り組んだ結果、下水道処理人口普及率は第3次総合計画の目標値（75%）を上回っている。今後は、コスト意識を持ちながら市街化区域の未整備部分を中心に整備を行うことは勿論のこと、市街化調整区域の集落も含めて整備促進に努める。					
11	事業の内容(手法)	市街化区域内を優先しつつ、新たに事業計画区域に加えた市街化調整区域の家屋密集地区について、計画的かつ効率的に整備を進め、下水道処理人口普及率の向上を目指す。また、開発事業等に伴う施設建設についても、整備計画との整合や適切な維持管理に留意しながら協議・指導を行う。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 下水道処理人口普及率(%)	79	80	81	82	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		962,970	864,970	864,970	864,970	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	340,000	300,000	300,000	300,000	
	(a) - (b) = 一般財源		622,970	564,970	564,970	564,970	
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要								
1	事務事業名	下水道施設維持管理事業						
2	担当部名	上下水道部	担当課名	下水道課	課長名	片木 幹夫		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
		今後の取組						
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名	污水管渠費・污水管路改良費						
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	市が管理すべき公共下水道（污水）施設						
9	事業の目的	下水道施設の適切な維持管理により安心して快適に暮らせることを目的とする。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	1	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		下水道施設の維持管理については、下水道処理人口普及率の向上を目指し污水管渠の整備を進めていることから、管理施設が増加すると見込まれる。今後も常にコスト意識を持ち、計画的かつ効率的に調査・更新を行い、適切な下水道施設の維持管理に努める。						
11	事業の内容(手法)	下水道の破損による事故や堆積物による流下能力の低下を未然に防ぐため、計画的に調査を行い、必要な箇所については修繕、改築及び清掃を行う。						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標	管路調査率	100	100	100	100		
	活動指標	① 修繕率	100	100	100	100		
		②						
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		110,016	81,076	81,076	81,076		
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他	25,000	15,000	15,000	25,000		
	(a) - (b) = 一般財源		85,016	66,076	66,076	56,076		
14	増額理由	継続事業						
備 考								